

最重要課題 = 人口減少抑制策

当市が成長していくには、「若者等が地域に残ること、移住・定住者の増加」は絶対条件と言えます。なぜか「まちづくり(地域づくり)、教育、福祉、農・商工の後継者」などなど、若者等の減少がもたらす弊害は計り知れません。それじゃ今、何をすべきなのか。一刻も早く、若者等が当市に住みたくなる環境を整えることが極めて重要です。

4本柱が融合することで、大きな効果をもたらし、多くの課題が解消へ!

観光振興

少子化対策

移住定住

企業誘致

丸山章を応援しています。



彼の市議会議員2期8年を振り返ってみますと、私が望んでいた成長を見せてくれました。市議会議員として、常に広い視野を持ち、市政を発展させるべく数々の施策を提言してきました。市の発展には、彼の知見、先を見通す力量が必要です。私も全力で応援します。

丸山章後援会会長 古澤文夫



県立有恒高校の廃校を心配しておりましたが、上越市教育委員会教育長への支援要請、新潟県教育委員会教育長への存続要望等で、丸山君は力を発揮してくれました。おかげで、存続できるようになりました。彼の地域づくり、まちづくりに対する情熱はとて高く、こうした人材を失ってはなりません。

新潟県立有恒高等学校同窓会会長 小林正之

議員としての役職

- 農政建設常任委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 通年・広域観光推進特別委員会委員
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟委員
- 上越食料農業農村議員連盟委員
- 日韓親善上越市議会議員連盟委員

プロフィール

- 昭和29年9月28日 旧清里村馬屋で生まれる。
- 昭和48年3月 県立有恒高等学校卒業
- 昭和48年4月 清里村役場入庁
- 昭和55年度 清里村連合青年団長
- 昭和58・59年度 中頸城郡連合青年団長(10ヶ町村)
- 平成14年度 菅原小学校(現清里小学校)PTA会長
- 平成27年3月 上越市役所退職
- 平成28年4月 上越市議会議員初当選
- 令和2年4月 上越市議会議員二期目当選

趣味・特技

- 囲碁…日本棋院5段
平成20年12月 第51回新潟県アマ囲碁入・昇段戦(新潟日報社主催)の4段戦で優勝。
日本棋院5段免状を新潟日报社より贈呈される。
- ゴルフ、スキー、書道
- 家族 妻、娘2人、婿、孫2人、父

丸山章後援会事務所

住所:〒943-0512 上越市清里区馬屋 777
TEL/FAX: 025-528-3859
携帯電話: 090-4724-0574
e-mail: amaru103@yahoo.co.jp
ホームページ: 丸山章を検索 
今までの議会だより1号~15号を掲載

「オンリーワンのまちづくり」

きらり輝く
上越に



あきら
丸山 章

観光振興



「日本桜庭園・上越」構想 平成 31 年 3 月議会で提言

当市の特徴ある素晴らしいロケーションを日本庭園に見立て、観光資源の高田城址公園の「桜」をモチーフに、市民総参加による世界に誇れる「魅力ある都市づくり」を目指す。

「オーシャン・ヒストリーロード」構想 令和 5 年 9 月議会で提言

素材を活かしたまちづくり。キーワードは、歴史文化・海・夕日。ロードの姿：直江津区安国寺通りに魚類のオブジェ展示、街灯設置（夕日の色合で灯す）、町家等改修（昭和の風情復活）。道路色をブルー等に統一。無電柱化。

「町家・雁木を活かした街づくり」 令和 3 年 3 月議会で提言

歴史的・文化的・伝統的価値を有する、町家・雁木等の貴重な歴史的風情を保全することはとても重要で、しかも、観光資源としての文化遺産の価値は極めて高い。町家・雁木保全条例の制定。

「謙信公祭・ハスマ祭り・酒まつり」同時開催 平成 31 年 3 月議会で提言

東洋一とうたわれているハスの見ごろ時期に、「満開のきれいなハスを見て心を和ませます」「謙信公祭で感動する」「上越の酒と美味しい食を存分に楽しむ」個々のイベントの価値を高める。

ねらう効果・・・当市が持つ様々な素材の魅力を向上させることにより、国内外の観光客を増加させるとともに、若者の U I J ターン、定住へと導く。

少子化対策



「縁結びボランティアセンター」設置 平成 30 年 12 月議会で提言

男女の出会いを通じて幸せを掴んでいただくため、人工知能(AI)、ビックデータ技術システムの導入等を図りながら、若者等の結婚希望をかなえる環境を整える。さらに、世話好きの方々等から縁結びの協力を願う。

「ママ・パパ子育て応援ハウス」の設立 令和 2 年 12 月議会で提言

既存のファミリーサポートセンター、ファミリーヘルプ保育園等を一体にし、かつ施設で対応できなかった支援にも対応する。さらに、ワンストップで妊娠から子育てに関する事案に対応できる相談窓口を併設する。

市長へ進言していきます。

起死回生の策 〈対策 4 本柱〉

上越市のポテンシャルを引き出す！

「市民の皆様の声を大切に」をモットーに議員活動を行ってきましたが、今、もっとも憂いておりますのは、人口減少の加速です。このままでは、当初の将来推計人口より減少率は確実に高まっていきます。この課題の改善には、将来ビジョンの策定は極めて重要で、しかも一刻も早く具体的なかつ有効な人口減少抑制策を講じないことには、皆様の「期待・希望・夢」を実現することはできません。

申し上げるまでもなく、当市に余裕はありません。私は、いままで人口減少抑制策として、具体的な政策（施策）を提言してきましたが、今後とも当市の成長・発展のために、努力してまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



企業誘致



「企業誘致プロジェクトチーム」編成 令和 2 年 6 月議会で提言

企業誘致は、若者等の回帰をはじめ、所得の向上、消費の拡大、人口流入（交流）の増加が見込めるほか、地域の経営資源等が結びつくことで、産業集積へと導くことができる。税収確保。

ねらう効果・・・人口減少の鈍化、地域経済の発展、雇用の創出、税収の確保等に加え、当市の生活環境の良さなどを踏まえ、若者等の回帰や優秀な人材の確保を見据える。

「ファミリーヘルプ児童園」の設置 令和 4 年 6 月議会で提言

小学校に入学すると同時に保護者は預け先に苦慮している。少なくとも小学校 3 年生位までは継続して子育て負担の軽減を図る。「ママ・パパ子育て応援ハウス」が設立した際は不要。

ねらう効果・・・若者等に対して、安心・安全な出会いのサポートを整えるとともに、仕事を持つ夫婦が安心して子育てできる環境を整え、生活をエンジョイできる街へと導く。

移住定住

「奨学金返還制度」の創設 令和元年 9 月議会で提言

高等教育（大学等）修了者が当市へ居住した場合に、居住者の通算年数によって、奨学金返還分を再度本人に返還し、定住を促進させる。

「買物郵便支援制度」の創設 令和 3 年 12 月議会で提言

運転免許証の返納は、買い物弱者の増加に拍車をかけている。高齢者等の世帯が自宅で安心して生活できるよう、ワンストップで様々な買い物ができる環境を整える。

ねらう効果・・・青壮年層、中高年齢層にとって、安心・安全でしかも魅力ある都市は、人生設計を立てるうえで大きな要素になり得ることから、選択肢の多い都市としてブラッシュアップする。

他分野の重要課題も改善へ

福祉関連対策

安心・安全な暮らし、人材不足の解消ほか

教育関連対策

特徴ある教育、人材の確保・育成ほか

農業・商業・工業の環境整備

農業のブランド化、後継者対策、販路の開拓ほか

地域づくり、まちづくりの環境整備

後継者対策、地域の担い手確保ほか

空き家対策

若者等が地域に残る。移住・定住の促進ほか

防災体制

人材の確保・育成、防災組織の強化ほか

10 の提言について、事業費の財源確保は可能。これからも“きらり輝く”上越に向けて、効果的な提言を行っていきます。